社会福祉法人　愛清館
幼保連携型認定こども園

共愛館保育園

所在地　墨田区押上3-53-6
電　話　3617-4460
FAX　3617-4461

認可年月日

平成28年4月1日(昭和31年12月26日)

園長

竹前　真

定員

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
2·3号認定	12	22	24	24	24	24	130
1号認定	―	―	―	3	3	3	9

受入月齢

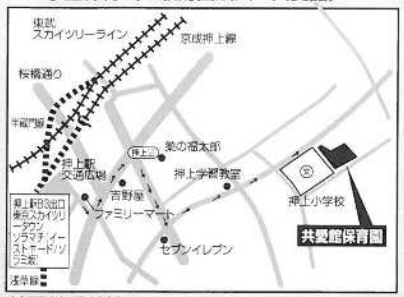
生後43日～就学前

開園時間

(月～土)
午前7:15～午後8:15

主な事業

・乳児保育　・幼児保育　・障害児保育
・延長保育　・母と子の手作り保育
・子育て安心ステーション
・学童保育（一般財団法人　共愛館）



地下鉄浅草線
京成押上線
地下鉄半蔵門線
東武スカイツリーライン
} 押上駅より徒歩10分

れきし

共愛館は、カナダの宣教師によって創られたキリスト教主義の社会福祉施設です。その設立は関東大震災直後の1923年(大正12年)。その後、戦災を経て、戦後に再建されました。保育は、設立時に開設の幼稚クラブがそもそもの始まりです。2016年(平成28年)より都内で先駆けて、認可保育所から幼保連携型認定こども園に転換しました。

かんきょう

墨田区のほぼ中央に位置し、お隣りは押上小学校。駅からは多少離れていますが、静かな環境に恵まれています。こどもたちは土の園庭を、自由に走り廻っています。樹木や花壇など、自然環境の整備に配慮しています。現在の園舎は1967年(昭和42年)の竣工。少々古びてきていますが、暖かさを醸しだしています。ベビーブーム期には300名以上のこどもたちが通ってきていましたが、今ではゆったりとスペースを使用しています。

おちばであそぶこどもたち

ほうしん

聖書の言葉、『信仰と、希望と、愛、この3つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。』に基づき、共愛館はその名の通り、困っている人を助けるために(誰でも分け隔てなく、共に愛することが出来るように)誕生した施設です。時代の移り変わりと共に、社会的に求められるニーズは変化して来ていますが、この創立の精神は決して変わりません。現在では子どもをその対象の中心とした施設となって運営されていますので、①愛すること、②困っている人の助けになること、③一人一人を大切にすること(こどもを尊重すること)の3点を特に重要な基本原則と位置付け、その視点から日々の運営に当たるように心掛けています。

たことかににへんしんしたこどもたち

ファミリー

共愛館では、3·4·5歳児各5～6名ずつの16名を1つの単位(ファミリー)として、たて割りのクラス編成で保育しています。これは、「保育施設ではなるべく家庭に近い状態で保育すべきではないか。」という願いから採り入れた方式で、北欧での試みをモデルとしています。同年齢集団は、発達段階が同じため一斉指導には適していますが、その反面、比較や競争に陥りやすく、仲間はずれやいじめにつながることもあります。家庭で兄弟が互いに影響しあいながら成長して行くように、ファミリー保育では年長児では思いやりや助け合いの心が、年少児では憧れや尊敬の念が育ちます。

ゆきのかまくらであそぶこどもたち

のびのび

共愛館では、クラスの垣根が低く、こどもたちはお友だちの家に遊びに行くように別のクラスに遊びに行きます。集団生活をする上での最低限のマナー(他者に迷惑を掛けない等)を守れば、こどもたちの自主性をまず第一に尊重します。決められたカリキュラムをこなして行く管理主義的な保育ではなく、こどもたちの興味や好奇心を大切にし、決して嫌なことを無理強いすることはありません。

ぎょうじ

共愛館では、全園児が勢揃いしての大きな行事はほとんどありません。一例を挙げると、運動会がありません。これは、行事のための練習などに左右されることなく、こどもたちの普段の保育(生活)をできる限り大切にしたいとの思いからです。発表会や披露会といったいわば見せる為の行事は、基本的にありません。一方、四季折々の行事やおでかけ(遠足)など、クラス·年齢単位のイベントには充実を心掛けています。親子自由参加の遠足や、年長児のキャンプなど、園外での体験の他、発達段階に応じて豊かな経験が積める様に、クッキング保育や、年数回の人形劇の観賞など多様なプログラムを用意しています。

ハロウィンでおかしをもらうこどもたち

けんこう

定期的な健康診断の実施の他、看護師が0歳児クラスを中心に常勤しています。病気のお子さんをお預かりすることはできませんが、子育てや健康のことなど何でもお気軽に御相談下さい。

がくどうほいく

母体法人である一般財団法人共愛館が運営する学童クラブを併設していますので、希望すれば卒園後も引き続き、放課後の保育を受けることができます。押上小学校、曳舟小学校、第四吾嬬小学校などから小学生が通って来ています。

ふぼのかい

共愛館には、保護者の方の自主的な組織として、父母の会があります。夕涼み会などの行事の実施やプレゼントを贈るなどの活動により、こどもたちの健やかな成長と保育の充実を助けています。